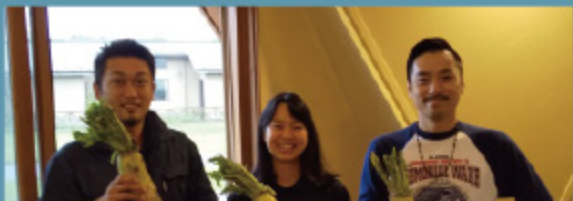


2017年
と
2026年

川崎町地域おこし協力隊 活動報告書



川崎町を
元気にする
23人の挑戦！





大好きなこのまちで 私たちができること。



「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化の進行が著しい自治体へ、都市住民が移住し地域協力活動に従事するものです。川崎町では移住・定住促進業務を行いながら町のプロモーションや町のイベントなどお手伝いをしています。それぞれの知識や経験を活かしながら、地域の為に伴走する協力隊の皆さんを紹介します。



地域おこし協力隊活動報告

～こんな事やっています！その1～

空き家バンク運営



空き家の物件登録や移住相談の他に空き家登録相談など受けています。
また、川崎物件ポータルサイトのホームページに載せる為の空き家の撮影や資料作りも行っています。

移住・交流フェア



東京のイベントに参加し、川崎町の魅力をアピールしています。

県庁合同販売会

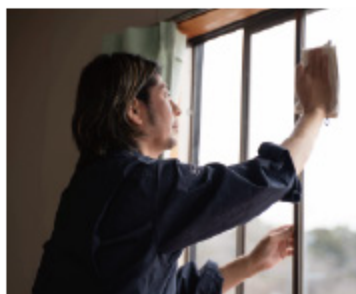


県庁の1階ロビーにて川崎町の野菜や特産物などのアピールと販売を行っています。

地域おこし協力隊活動報告

～こんな事やっています！その2～

SPRING・ENGAWA 運営管理



SPRING の設備の予約管理の他に芝刈りや ENGAWA のチェックイン・チェックアウト、畑の管理など行っています。

ワークショップ



町民の方や技の匠をおまねきしてのワークショップなど行っています。

町のイベント



レイクサイドマラソンのお手伝いや町のイベントでの出店、伝統行事への参加などもしています。

地域おこし協力隊活動報告

～こんな事やっています！その3～

移住定住交流会



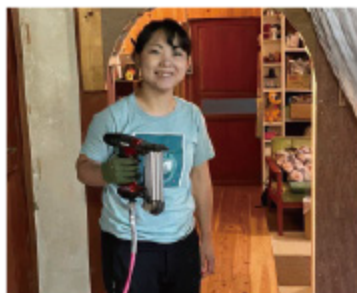
新しく来た移住者の方たちに川崎町の魅力を体験していただくたり
新しいコミュニティを構築するきっかけを作る交流会を企画しています。

他地域の地域おこし協力隊との合同研修&交流会



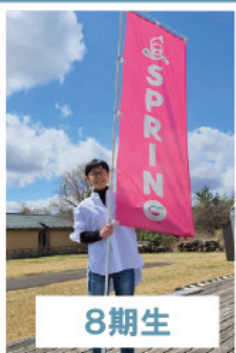
他の地域で活動している地域おこし協力隊との情報共有や卒業生の講習、
ワークショップなどを行っています。

卒業後の起業準備



地域おこし協力隊の任期卒業後、起業の為の準備をしています。

宮城県川崎町 地域おこし協力隊



卒業生 現役隊員紹介

川崎町の
ここがスキ
温かい地域の方々、
美しい水や農作物や都会では
見れない綺麗な星空が魅力です！

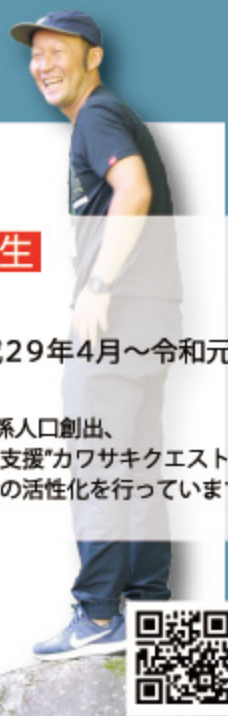


1期生/卒業生 澁谷剛

活動期間：平成29年4月～令和元年12月

卒業後の活動

Webデザイン、関係人口創出、
川崎校探求学習の支援“カワサキクエスト”などの
事業を行い川崎町の活性化を行っています。



カワサキクエストの詳細は
上記QRコードをチェック！！



川崎町の課題の解決や関係人口創出など、町おこしの活性化を
目的としたプロジェクトです。

地域おこし協力隊だより



つながりから広がる、川崎町での暮らしの魅力

10月6日、SPRINGで第1回移住者交流会を開催しました。
当日は心地よい秋晴れのもと、約30名が参加し、
食事を囲みながら川崎町での暮らしや魅力について語り合いました。

参加者からは、水や野菜の美味しさや自然環境の豊かさに加え、
「人が親切であたたかい」といった声も多く聞かれました。
実際の暮らしの中で感じていることを共有することで、
それぞれの視点から見た川崎町の良さが改めて見えてきました。

また、交流を通して新たなつながりも生まれ、
これからの暮らしがより楽しみになるような、前向きな時間となりました。

これまで受け継がれてきた町の魅力に、
新しい人のつながりが加わることで、川崎町はこれからもより
豊かで魅力的な場所になっていくと感じています。

地域おこし協力隊だより



出合いの一年から、次の一歩へ

地域おこし協力隊として川崎町に来て、まもなく1年が経ちます。
新しい環境や任務に期待を抱く一方で、
地域の中でやっていけるのかという不安もありながらのスタートでした。

しかし、仕事を通して関わる方々や、
地域で出会った皆さんに温かく迎えていただき、その不安は次第に
安心へと変わっていきました。祭りや行事、日々の何気ない交流の中で、
多くの支えやつながりを感じることができました。

1年目のテーマは「川崎の町と人と資源を知る」ことでしたが、
活動を重ねる中で、
この町の一番の魅力は「人」であると強く実感しています。

2年目は「形にする」をテーマに、
これまでの出会いや学びを活かしながら、
より具体的な取り組みへとつなげていきたいと考えています。
そのためにも、これからさらに多くの方と出会い、
町の魅力や課題にしっかり向き合っていきます。



1期生/卒業生

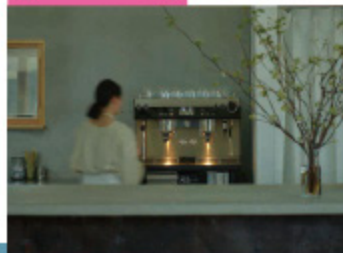
佐藤麻衣子

活動期間:平成29年4月～令和2年4月

卒業後の活動

夫が育てる放牧豚“たけし豚”などの
地元食材が楽しめるレストラン
farmer'stablemanoをオープンしました。

川崎町の
ここがスキ
豊かな自然、のどかな田んぼの風景。
ペーパードライバーや運転初心者でも
比較的運転しやすいところ(笑)



普段見慣れた食材でもシェフならではの
お料理としてお楽しみいただけると思います!

店舗情報

farmer'stablemano (ファーマーズテーブルマノ)

小野井天5-1川崎特産センター1F

lunch: 11:00 - 15:30 (L.O.14:00) dinner: 18:00 - (ご予約制) close: 水木不定休

地域おこし協力隊だより



この町で出会う、小さなマーケットの大きなぬくもり

今回は、10月まで第4土曜日にSPRINGで開催されている、
会員主催のフリーマーケット「ニャードセル」の様子をお伝えします。

ご自宅で使わなくなった物の出店や無料コーナーのほか、
その場で楽しめる美味いカレーやハンドドリップコーヒー、木工品、
手書きの紙職人によるポストカード、町内の農家や豆腐屋の出店など、
なんともバラエティ豊か、キャンドル作りのワークショップもあり、
訪れるだけでもワクワクする内容となっています。

中でも特徴的なのが「子どもマーケット」。
大人だけでなく、お子さんの出店も募集しており、
ちびっこ画伯のポストカードや使わなくなったおもちゃの販売、
射的遊びなど、子どもたちが一生懸命“お店屋さん”に挑戦しています。

このフリーマーケットの主催者は、2年前に空き家バンクを
活用して川崎町へ移住された方。町の活性化につながる、
人と人がつながる場をつくりたいという思いから、
この取り組みが始まりました。回を重ねるごとに少しずつ認知度も
高まり、町外からの出店者や来場者も増えています。

大人も子どもも楽しめる「ニャードセル」。毎回とても温かい
雰囲気にもまれ、ここでしか出会えない人々やモノとの出会いがあります。

地域おこし協力隊だより



人が集い、つながりが生まれる場所「SPRING」

平成29年6月にオープンしたSPRINGですが、
「何をするといいか?」という声もまだ聞かれます。

SPRINGは、川崎町への移住や起業の相談ができる施設で、
会員登録をするとコワーキングスペースとして利用できます。
会議室や調理室もあり、講座やフリーマーケットなど、
会員主催のイベントも開催されています。

日常の中でも、会員同士の会話から新しい仕事やつながりが
生まれることもあり、物々交換などユニークな関係が広がっています。

現在は無料で利用できます(※一部有料サービスあり)。
イベント参加のみであれば会員登録は不要です。

町内の交流の場として、ぜひお気軽にお立ち寄りください。
空き家バンクのご相談も随時受け付けています。

川崎町の
ここがスキ
移住者も温かく受け入れてくれる、
個性豊かな町民の方々、
四季を感じよう里山の景色、
温泉、美味しい水が大好きです。



2期生/卒業生 舩昌汰

活動期間：平成30年4月～令和3年3月

卒業後の活動

株式会社百として、宿泊業、自伐型林業を、新規就農者として農業を行っています。その他に、町内の各事業者と連携しながら、里山Joy!の運営、力カ栽培を行っています。



川崎町の里山の恵みを活かした、「知って、遊んで、楽しめる」体験型ツアーを行っています。

店舗情報

Ecommodation 百のやど・・・川崎町前川六方山18-51

地域おこし協力隊だより



地域とともに歩んだ3年間と、これからの挑戦

時の流れは早く、川崎町に移住して4度目の春を迎えました。

これまで多くの町民の皆様を支えていただき、温かく見守っていただいたことに、心より感謝申し上げます。協力隊を卒業後も、引き続き川崎町で活動が続けてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

協力隊の活動と並行して取り組んできた「百」の事業では、「食とエネルギーの地産地消を体験できる宿泊施設」を、今秋より開業予定です。川崎町の豊かな自然を体感できる場として、多くの方に利用していただけるよう準備を進めています。

また、「百」の活動を通じて、同世代の移住者が10名に増えるなど、地域の魅力が広がっていることを実感しています。

これからも初心を忘れず、人とのつながりを大切にしながら、この町での暮らしと活動を続けていきます。

地域おこし協力隊だより



地域の魅力を伝える活動と、日々の学び

先日、人生初となる生放送ラジオ出演の機会をいただき、NHK仙台を訪問しました。言葉だけで伝える難しさと、プロの話術の素晴らしさを実感する貴重な経験となりました。また、町民の方から川崎町の魅力を発信する通信員の役割を引き継ぎ、より多くの方に興味を持っていただけるよう取り組んでいます。

6月は、田植えや大豆の植え付け、麦やニンニクの収穫など、日々の農作業に勤めています。朝早くからの作業は大変ですが、充実した一日の始まりを感じられる時間でもあります。

協力隊としての活動も最終年度を迎えました。これまでの経験を活かしながら、常に学び続ける姿勢を大切に、楽しみながら成長していきたいと思っています。

2期生/卒業生

山崎 杏美

活動期間：平成30年4月～令和4年3月

卒業後の活動

株式会社YAMANONEを企業。
川崎茶を復活させてのお茶生産、
飲食店事業を展開「茶舗福ノ葉堂」を経営中。

川崎町のこがスキ
豊かな自然があまところ。
神奈川では他では無い事ができた。
ヒトとヒトの濃い付き合いが出来た。
移住者も快く受け入れてくれる。
町民の方々がたくさんいる。
町民の方々がたくさんいる。



川崎町で130年以上前に作られていたお茶。
その川崎茶の栽培・復活に取り組んでいます。



店舗情報

茶舗 福ノ葉堂・・・ 館川字轟町81-1番地/営業時間 金・土・日11:00～17:00

地域おこし協力隊だより



川崎茶の復活を目指す、地域資源継承の取り組み

川崎町に来て4年目を迎え、
協力隊としての活動も最終年度となりました。
現在は、かつて作られていた川崎茶の復活を目指し、
挿し木から育てたお茶の木の栽培に取り組んでいます。

3年目となる茶木は少しずつ成長していますが、
冬の寒さによる影響などもあり、試行錯誤の連続です。
それでも地域の皆さんの支えにより、活動を続けることができています。

現在は、お茶の加工方法についても研究を進めており、
紅茶や半発酵茶など新たな可能性を模索しています。

今後は、NPO法人川崎町・学校サポートネットワークと連携し、
川崎高校の生徒とともにお茶摘みや植樹活動を行う予定です。
若い世代が地域の歴史に触れ、
関心を深めるきっかけづくりにもつながっていきたく考えています。

地域おこし協力隊だより



お茶で広がる、新しい一歩と挑戦の取り組み

雪が降り、薪ストーブのぬくもりが心地よい季節。
川崎町のお茶の復活に向けた活動も、冬はひと休みです。

今年は、柴田農林高校川崎校の生徒とともに、
校内に茶畑をつくるプロジェクトをスタート。地域の方々の
協力のもと、開墾から苗木の植付まで取り組みました。
成長し、茶摘みができる日が楽しみです。

また、イベントなどで川崎紅茶を販売し、
「美味しい」という声をいただけたことが大きな励みになりました。

卒業後は、川崎町産のお茶を楽しめるお店の開業に向けて
準備を進めています。この土地に根付き、人とのつながりを
大切にしながら、これからも歩んでいきます。

川崎町の ここがスキ

豊かな自然とあたたかな人たちが好きです。
自分の夢や理想のライフスタイルの環境に
取り組んでもよい人たちがたくさん！
そんな人の魅力も相まって、
今でも新鮮な驚きと人との出会う、
喜びの町です。



3期生/卒業生

佐藤 弥絵

■活動期間:平成31年4月～令和4年3月

■卒業後の活動

“たべることくらすことSOW”という、
オーガニック食品の量り売りと
雑貨のお店をしています。



オーガニックにこだわったドライフルーツや
手作りピーナッツバターなど取り揃えております。

活動場所 たべることくらすことSOW・・・川内大原前151-4(営業時間 金～月10:30～16:00)

地域おこし協力隊だより



地域の恵みを活かす、食品加工への挑戦

川崎町に移住して3年目を迎え、
協力隊としての活動も最終年度となりました。
地域では、「野菜や果樹の栽培はできても加工まで手が回らない」
という声を多く耳にし、1年目から食品加工に取り組んできました。

今年は初めて県庁販売会に出品し、
ルバーブとイチゴを使ったミックスジャムを販売することができました。
大学時代に会ったルバーブジャムの味が忘れられず、
川崎町で再び出会えたことに縁を感じています。

ルバーブやイチゴは地域の方から採分けしていただき、
少しずつ栽培を広げています。まだ学ぶことも多いですが、
協力隊を卒業した後も続けていきたい取り組みです。

次はブルーベリーを使った加工にも挑戦予定です。
これからも楽しみながら取り組んでいます。

地域おこし協力隊だより



この町で過ごした3年間と、これからの一歩

川崎町に移住して、4回目の春を迎えます。
協力隊としての3年間も、まもなく一区切りとなります。
しめ縄連縄や竹細工の匠のもとで、技術を学びながら過ごした日々、
和やかな時間の中で、昔の暮らしの話を耳を
傾けるひとときも、かけがえのないものでした。

「Kawasaki Caravan」では、たくさんの方に足を運んでいただき、
人が集い、つながる場をつくることができました。

また、農家さんとともにルバーブの栽培やジャムづくりにも取り組み、
この町ならではの新しい魅力を形にしてみました。

これからは、旧藤分分校にてお店「Sow(ソウ)」をオープンします。
町の恵みを活かした商品とともに、心地よい時間を
届けたいと思っています。

これまで関わってくださった皆様へ、心からの感謝を込めて。
これからも、この町で人と人のつながりを大切に歩んでいきます。



3期生/卒業生 阿部真紀子

活動期間：令和元年5月～令和5年3月

卒業後の活動

しめ縄、手仕事をテーマに活動していたが、
家庭の事情により、自身の出身地へ帰郷しました。



技の匠の方からしめ縄を教えてもらいました。

地域おこし協力隊だより



地域資源を活かした、わら細工づくりの取り組み

川崎町の地域おこし協力隊として3年目を迎えました。
1年目から町内在住の大内さんとともに、
稲わらを使ったわら細工づくりに取り組んでいます。

当初は「猫ぐら」づくりを目標に活動を始めましたが、
材料の確保が難しいこともあり、現在は少ないわらで作れる
小物を中心に制作しています。

去年は、みちのく杜の湖畔公園でのイベントや青根の
岡崎旅館での雑貨市に出店し、多くの方に作品を手
取っていただく機会となりました。

また、ヒンメリづくりをきっかけに、小麦の栽培にも挑戦しています。
さらに今年は稲作にも取り組み、田植えを体験しました。
今後は収穫した素材を活かした作品づくりを予定しています。

これからも、川崎町の資源を活かしたもののづくりを
続けていきたいと考えています。

地域おこし協力隊だより



暮らしを体験する、ENGAWAでの農と食の取り組み

お試し移住施設「ENGAWA」では、
畑でさまざまな野菜を育てています。先日は収穫した
野沢菜で漬物を仕込み、今後は大根を使った柿漬けや
燻製などにも挑戦する予定です。

また、庭にある柿を使って干し柿づくりも行いました。
皮をむいて吊るし、硫黄燻熏を施すことでカビを防ぎながら
仕上げていきます。完成が楽しみです。

近年は、田舎暮らしへの関心の高まりから、
移住相談や施設の利用者も増えています。実際に滞在を
きっかけに移住されたご家族もおり、
暮らしを体験できる場としての役割を実感しています。

今後も、利用者の皆さんに満足していただける
施設づくりに取り組んでいます。

川崎町の
ここがスキ

大自然とうまい水と
明るく気さくな町民の方々！



4期生/卒業生

三浦隆寛

活動期間：令和2年4月～令和5年3月

卒業後の活動

仲間と令和5年6月株式会社耕不尽を起業。



川崎こんにやくの販売のお手伝いにも参加。



今宿子川崎源と北原に野菜の無人販売所が
ありますので是非覗いてみてくださいね！



個人Instagram... 耕不尽

地域おこし協力隊だより



農業を通じた地域づくりと、ねぎ祭りの取り組み

地域おこし協力隊としての任期も、残り3か月となりました。
「地域おこしとは何か」と自問自答しながら過ごした3年間でしたが、
農業を通じて地域に関わりたいという思いで活動を続けてきました。

10月30日には、第2回「宮城川崎ねぎ祭り」を開催し、
無事に終えることができました。川崎町で育てられたねぎの
おいしさを多くの方に知っていただくとともに、
町内外からたくさんの方に足を運んでいただく機会となりました。

この「ねぎ祭り」は、自分が協力隊として地域に残ることができた
取り組みの一つだと感じています。今後も継続し、
「今年もねぎ祭りの季節が来た」と思っていたらいいような
イベントに育てていきたいと考えています。

これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊だより



地域に根ざした農業と、にんじんづくりの取り組み

今年も残りわずかとなりました。農業仲間も増え、
日々成長を実感しながら作業に取り組んでいます。
川崎町の気候や風土にも少しずつ慣れ、
天候が作物に与える影響を考える機会も増えました。
今年は長雨や寒さの影響もあり、改めて自然の難しさを感じています。

そんな中、さまざまな野菜づくりに挑戦し、農業の楽しさと
厳しさの両方を学びました。現在は、寒さの中で甘みを増す
「にんじん」の栽培に力を入れています。

にんじんはβカロテンを豊富に含み、
体の健康を支える栄養価の高い野菜です。私たちが育てた
にんじんを通して、そのおいしさと魅力を多くの方に
届けていきたいと考えています。

これからも「川崎町のにんじん」を広く知っていただけるよう
取り組んでいきます。今後ともよろしくお願いいたします。



川崎町の
ここがスキ
新しいことを応援してくれる人がいることや
蔵王山麓の四季を楽しむことができます。
とて素敵だなと思います。



4期生/卒業生 高橋愛満

活動期間:令和2年4月～令和5年3月

卒業後の活動

仙台の大学で働きながら、子供も
大人も集って自然とともに暮らしを
つくる場をつくっているところですよ！
場開きを目指にがんばります！



みそや醤油などの手作りワークショップなど行っていました。

地域おこし協力隊だより



五感で楽しむ、地域資源を活かした体験づくり

今秋は毎週のように町内各地でイベントが開催され、
「音楽・芸術・食の秋」を存分に楽しむことができました。
山々が色づいていく景色も美しく、季節の移ろいを感じる日々でした。

地域の暮らしや知恵に触れる中で、川崎町にあふれる
素材を活かし、日々の暮らしを彩るとともに、
町外の方にも魅力を伝えていきたいと考えています。
人とともに五感で味わう体験は、世代や言語を
越えて多くの方に楽しんでいただけるものです。

現在は、冬に向けて川崎町の羊毛を
使ったイベントも企画しています。
今後も地域資源を活かした取り組みを発信していきますので、
ぜひご期待ください。

地域おこし協力隊だより



教育と自然をつなぐ、地域づくりの取り組み

4月に協力隊として着任した当初は、新型コロナウイルスの影響で
多くの行事やイベントが中止・延期となっていました。
感染対策を講じながら徐々に開催されるようになり、
地域の皆さんとお会いする機会も増えてきました。

私は、教育と自然をテーマにした活動を目指して協力隊に参加しました。
現在は、柴田農林高校川崎校の生徒と地域を盛り上げる企画を
考えたり、尚絅学院大学の学生に川崎町の魅力を伝える授業の
サポートを行っています。若い世代の発想やエネルギーを活かし、
地域の魅力をさらに引き出していきたいと考えています。

また、日々の暮らしの中で、畑仕事をしていると声をかけていただいたり、
神楽の練習に誘っていただいたり、
地域の温かさを感じる場面が増えました。

これからも、川崎町の自然や文化を活かした
子ども向けの取り組みを進めていくとともに、
冬ならではの暮らしや手仕事にも関わってきたいと思っています。



4期生/卒業生 星恒太郎

活動期間：令和2年4月～令和5年3月

卒業後の活動

卒業後も継続してこども園のダンスや体操の授業を教えています！

川崎町の
こころがスキ
教育現場の先生方が親切で
協力して頂けるところが助かって、います！
子供の運動能力の低下、生活習慣病、
高齢者の健康対策、心の不安、ストレス、
これ全部ダンスで解決！



町のイベントのお手伝いや高校生達にダンスを教えています。

地域おこし協力隊だより



ダンスと体操で広がる、地域交流の取り組み

スポーツの秋、食の秋、芸術の秋。
皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか。
私は変わらず「ダンスの秋」を楽しんでいます。

昨年から続けているダンスや体操の活動も徐々に広がり、
柴田農林川崎校や富岡幼稚園、尚絅学院大学、東北芸術工科大学、
JAみやぎ仙南川崎支店女性部などで、ワークショップや
講義の機会をいただきました。

富岡幼稚園の運動会では、「やぐら踊りの術」と題し、
子どもたちと表現遊びを行いました。相馬倉俣に加え、
さまざまな音楽に合わせて自由に体を動かし、
会場は笑顔にあふれました。
最後には、私が振り付けした体操を保護者の方々も一緒に踊り、
楽しい時間となりました。

地域おこし協力隊だより



ダンスで広がる、新しい一歩と挑戦の取り組み

はじめてのことは誰もがドキドキするものです。
私自身も新しい生活や日々の出来事に、
今でもドキドキしながら過ごしています。

そんな気持ちを大切にしながら、6月より念願だった
ダンスワークショップを開催することになりました。
ジャンルにとらわれず、基礎から楽しく体を動かすことで、
ダンスの魅力や身体の動かし方を伝えていきたいと考えています。

「初めてで不安」「少し恥ずかしい」そんな気持ちは誰にでも
あるものです。ですが、新しい動きに挑戦することは、
身体にも心にも良い刺激となります。

年齢や経験は問いません。気軽に参加していただき、
一緒にドキドキを楽しみましょう。
踊ることは、日々を豊かにする大切なきっかけになるはずです。



5期生 卒業生

田中宗子

活動期間：令和4年4月～令和7年3月

卒業後の活動

令和7年度より、移住コーディネーターとして引き続きSPRINGに在籍し、移住・定住に関わる活動を行っています。さらに、任期中に学んだ天然酵母パン作りを活かし、自家製パンで「川崎町のおいしいもの」をサンド！川崎の魅力を発信するキッチンカーとして、イベント出店にも取り組んでいます。

「川崎町のキズナ」が、四季の移り変わりを身近に感じられるよう、あたたかく迎えてくれるところ。



任期中には自家製パンの販売にもチャレンジしました！

地域おこし協力隊だより



四季を感じるまち、川崎町の移住体験ツアー

すっかり白くなった蔵王の山の凛とした姿に、新たな気持ちで新年を迎えています。四季の移り変わりを身近に感じられるところも、川崎町の大きな魅力です。

この魅力を伝え、移住者を増やしていこうという思いから、「移住体験ツアー」を開催しています。今年度は季節ごとに年4回、協力隊OBの総さんが運営する団体「星山Joy!」とコラボし、企画から当日のアテンドまで私たちが担当しています。

ツアーでは、おすすめスポットや空き家バンクの物件を紹介しながら町内を巡るほか、草木染めや釣り、薪割りなど、自然の中での体験メニューも用意しています。また、川崎町での子育てのことや移住して感じたことなど、参加者からの疑問にお答えするの、移住者である協力隊の大切な役目です。

ただの観光ではなく、移住先としての川崎町でのリアルな暮らしを感じていただける企画づくりを心がけています。

地域おこし協力隊だより



移住を支える、お試し移住施設 ENGAWAの取り組み

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の業務の一つに、お試し移住施設ENGAWAの管理・運営があります。この施設は、川崎町への移住を検討されている方が、暮らしを具体的にイメージできるよう、最大10日間無料で滞在できる拠点です。

ENGAWAは、空き家を改修したモデルハウスで、「人の縁が輪のように広がる川崎の家」をコンセプトに整備されました。町の魅力や人とのつながりを感じていただく場として活用されています。

実際に8月には、オーストラリアから移住を検討されているご夫婦が滞在されました。空き家バンクを活用して住まいを探しながら生活を体験し、最終的に町内での暮らしをスタートされました。

滞在中のサポートには多くの課題もありますが、移住を決めていただいた時の喜びは大きなやりがいです。今後も一人ひとりに寄り添いながら、移住促進に取り組んでいます。



5期生 卒業生

川田泰紀 (るぼぼの森所属)

活動期間: 令和4年4月～令和7年3月

卒業後の活動

引き続き、るぼぼの森キャンプ場で就業予定
るぼぼの森キャンプ場管理、運営業務。
イベント企画、運営業務、
小中学生を対象とした
「るぼぼジュニアキャンプ」を実施。

川崎市の
ここがスキ
自然が豊かすぎるところ。
自然体験活動の
フィールドとしても最高！



食のホームページ

るぼぼの森 宿泊施設付きオートキャンプ場
今宿字小笠沢山39



地域おこし協力隊だより



キャンプ場を支える、管理運営と体験づくりの取り組み

夏を迎え、キャンプ場が一年で最も賑わう時期となりました。
日々の管理業務では草刈り作業が増え、
芝生の状態や天候を見ながらの対応に忙しい日々を送っています。
利用者の皆さんに気持ちよく過ごしていただくため、
この時期には欠かせない大切な作業です。

先日には、富岡中学校の生徒さんが職場体験に訪れました。
キャンプ場内の見学に加え、火起こしやパン焼き体験など、
キャンプ場ならではのプログラムと一緒に学びました。

質疑応答の時間では、仕事に関するさまざまな質問を受け、
改めて自分の仕事を見つめ直す良い機会となりました。
今後も、訪れる方に楽しんでいただける環境づくりに努めていきます。

地域おこし協力隊だより



自然を活かした、キャンプ体験プログラムの取り組み

秋も深まり、るぼぼの森では紅葉が美しい季節を迎えました。
晴れた日には色づいた景色を写真に収めるお客様も多く、
川崎市の自然の豊かさや美しさを改めて感じています。

先日、6回目となる「るぼぼジュニアキャンプ」を開催しました。
仙台市や川崎市から8名の子どもたちが参加し、
自然の中でのキャンプを楽しみました。

今回は、竹を使った食器づくりに挑戦しました。
古閑地区の竹林からいただいた竹を加工し、お皿やお碗、
コップを作りました。準備には手間もかかりましたが、
子どもたちが楽しみながら真剣に取り組む姿を見て、
やりがいを感じました。

今後も、地域の資源を活かした
新しい体験プログラムづくりに取り組んでいきます。



川崎市の
ここがスキ
子供の個性に寄り添い
温かく見守ってくれることも
美味しい水とお野菜、晴れの
日の釜房大橋からの景色。



5期生

中川尚子 **卒業生**

■活動期間：令和4年5月～令和7年5月

■卒業後の活動

自分を見失いネガティブループから
抜け出せない方への寄り添いコーチングと、
お母さんが安らぐ場作り。

ゆくゆくは不定期で

お子さんを預かる保育ママもやりたい！



地域おこし協力隊だより



未来の担い手をつなぐ、協力隊体験ツアーの取り組み

早いもので、今年も残すところ2か月となりました。
澄んだ空気の中で見上げる星空に、
川崎市に来たばかりの頃の感動を思い出します。

現在、令和7年4月から活動する
地域おこし協力隊の募集を行っています。
応募を検討している方を対象に、
空き家バンク業務や起業に向けた取り組みの紹介、
協力隊OB・OGのお店を巡る交流などを行う
「協力隊体験ツアー」を実施しています。

参加者の方にとってはもちろん、私たちにとっても、
先輩方とじっくり話せる貴重な機会となり、
楽しみながら活動することができました。

任期も残り半年となりましたが、最後まで挑戦を続けながら、
より良い形を築いていきたいと考えています。

地域おこし協力隊だより



食を通じて広がる、学びと交流の取り組み

川崎市に移住してから早いもので2年が経ち、
周囲の皆さんの支えもあり、公私ともに充実した日々を過ごしています。
協力隊としても3年目を迎え、
新たな仲間とともに新年度のスタートを切りました。

今年の初めには、宮城県県の食育コーディネーターである
岡伸子さんを講師にお招きし、
寒くじづくりのワークショップを開催しました。
寒くじはさまざまな料理に活用できる万能調味料で、
手作りすることで日々の食を見直すきっかけにもなりました。

また、参加者同士の交流も生まれ、
コミュニティをつなぐ有意義な時間となりました。
今後もこのような機会を大切にし、
継続して企画していきたいと考えています。

川崎町の
ここがスキ

自然が広がっていて、
野生動物が見れて楽しいです！



5期生 卒業生

菊池兼人 (川崎町森林組合所属)

活動期間: 令和4年4月～令和7年3月

卒業後の活動

皆伐、生産間伐などで重機のオペレーターなどの業務をしています。卒業後も川崎町森林組合を引き続き継続雇用予定です。



伐採などの他に椎茸の栽培して県庁販売会などで販売をおこなっています。

会社のホームページ



地域おこし協力隊だより



林業の現場で学ぶ、森林整備の取り組み

こんにちは、新年度を迎え、協力隊として最後の年となりました。この2年間は新しい経験の連続で、あっという間に感じるほど充実した日々を過ごしてきました。

昨年は、生産間伐において重機を使った造材作業を行い、オペレーターの視点から林業の現場を学ぶことができました。伐倒の際には、どのように木を倒せば効率よく作業できるか、また安全に配慮しながら進めることの大切さを意識して取り組み、自身の成長を実感しています。

林業にはさまざまな工程があり、それぞれを理解することで作業の質や効率が大きく向上します。今後も新しい作業や重機の操作に積極的に挑戦し、知識と技術の向上に努めていきたいと考えています。

地域おこし協力隊だより



林業の現場で培った経験と、これからの挑戦

こんにちは、寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

3年間の協力隊としての活動も、まもなく終了を迎えます。この期間、林業という仕事を通して多くの経験を積むことができました。これまでの経験を土台に、今後はさらに技術を磨き、一人前の人材となるよう努力していきます。

また、森林組合での業務に加え、イベントや販売会の運営などにも関わることで、視野や考え方を広げる貴重な機会となりました。

今後も森林組合に所属しながら、これまでの経験を活かして成長を続けていきたいと考えています。これまでありがとうございました。

川崎町の ココがスキ

自然を身近に感じられ、
のびのびと子育てができる所。
地元愛に溢れる町民の存在。
頼もしい先輩移住者の方たちがいること。



5期生 卒業生 奥山一成

■活動期間：令和4年4月～令和7年3月

■卒業後の活動

任期中に起業した、
株式会社BLUEFIRSTの事業に専念
川崎町をはじめ仙南地域での
別荘・空き家の利活を主とした事業を展開。

BLUE FIRST
Co., Ltd.



株式会社Blue Firstを起業して貸別荘の
管理など行っています。

企画提供

坂の家VILLA・・・川崎町新川六方山3-2

地域おこし協力隊だより



移住支援から広がる、空き家活用の取り組み

皆さん、こんにちは。あたたかい春の季節がやってきました。
川崎町に移住して3度目の春を迎え、協力隊としても3年目となります。

これまで多くのイベントに関わらせていただき、
たくさんのお出会いと経験を重ねてきました。
また、空き家バンクや移住支援の活動を通じて、
空き家や別荘の管理・利活用を行う法人を設立することができました。

今後は、増加していく空き家や別荘を活かし、
貸別荘の運営や土地・建物の維持管理など、
さらに事業を展開していきたいと考えています。

最終任期となる3年目、新たな気持ちでチャレンジを
続けていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊だより



空き家活用から広がる、宿泊事業への挑戦

冬の季節を迎え、
川崎町に移住してから早くも2年が経とうとしています。

これまで多くのご縁と助言をいただき、宿泊施設や別荘の管理を行う
「株式会社Blue First」を10月に設立しました。

第1号となる別荘物件「坂の家Villa」は、まもなくオープン予定で、
一棟貸しの宿として川崎町の魅力を
体験していただける拠点づくりを進めています。

今後は、法人向けワーケーションにも対応できる環境を整えながら、
青根エリアを中心に別荘や空き家の管理事業を展開していきます。

地域の一事業者として、川崎町に貢献できるよう取り組んでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。



6期生 卒業生

庄子裕佳

■活動期間：令和5年4月～令和7年3月

■卒業後の活動予定

自家焙煎コーヒー豆やテイクアウトコーヒーの販売。イベント出店、ネット販売など。

川崎町の
ここがスキ

「昔は人のよき、いつも心にかけたり、
あまねきに話しかけてくれる優しいところ。
また、我が道を行く人が多く、そこを結ぶ力です。」



深煎りでスッキリしたコーヒーを目指しています！
現在中煎りもチャレンジ中。



Instagram

あまねき珈琲
自家焙煎



地域おこし協力隊だより



大学と連携した、地域マルシェの取り組み

こんにちは。アイスコーヒーがおいしい季節となりました。

6月27日、尚絅学院大学の食堂前で、
小さな川崎町マルシェを開催しました。これまで関わりがあった大学との
連携により実現した企画で、当日はコーヒーの提供と、
カモノオガニックファームさんによる
川崎町産の無農薬野菜の販売を行いました。

学生の皆さんにも準備や販売を手伝っていただき、
レイアウトの工夫や積極的な声がけなど、
自ら考え行動する姿が印象的でした。
その結果、お昼休みには多くの人で賑わい、
野菜もコーヒーも完売となりました。

今回の取り組みを通して、新たな視点や気づきを得るとともに、
川崎町や協力隊の活動を知っていただく良い機会となりました。
今後の活動にもつなげていきたいと考えています。

地域おこし協力隊だより



コーヒーを通じて広がる、地域とのつながりづくり

あけましておめでとうございます。2025年がスタートしました。
今年の干支「乙巳(きのとみ)」には
「成長と結実」という意味があるそうです。
努力を重ね、実りある一年にしていきたいです。

私が協力隊業務と並行して取り組んでいる「あまねき珈琲」では、
昨年、町内外のさまざまなイベントに出店させていただきました。
日々焙煎の技術を磨く中で、より安定したコーヒーを
提供できるようになってきました。

コーヒーを通じて町やイベントを盛り上げるとともに、
飲んでいただく方に「ささやかな幸せの時間」を
届けられることにやりがいを感じています。

これからも、川崎町で心地よいコーヒータイムを
お届けしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

川崎市の
ここがスキ

養蜂も町民の方々の指導があつてこそ、
これから感謝しております。
これからも宜しくお願い致します。



6期生 大沼繁幸 卒業生

活動期間：令和5年4月～令和8年3月

卒業後の活動予定

理容師として復帰し、日本ミツバチの養蜂と二足のわらじで、挑戦を続けていきます。



ニホンミツバチの希少なちみつの養蜂に挑戦しています。

Instagram

大沼繁幸 (個人)

地域おこし協力隊だより



地域に根ざした挑戦、日本みつばち養蜂の取り組み

明けましておめでとうございます。
地域おこし協力隊となり、初めての冬を迎えました。

春にご報告した日本みつばちの養蜂も、
いよいよ採蜜の時期を迎えました。
巣箱から蜜を取り出し、目の細かいザルに乗せて、
一晩かけてゆっくりと蜜を落としていきます。
日本みつばち一匹が一生で集められる蜜の量は、
小さじ一杯ほどと言われていますが、
今回の採蜜では約8kgもの蜜を採ることができました。
まさに尊い命からの贈り物です。

味は非常にコクのある甘さと、さわやかな後味が特徴で、
その豊かな風味に驚かされました。

養蜂や農業は、日々学びの連続ですが、
日本みつばちのハチミツの魅力やおいしさを、
今後多くの方にお伝えできる機会をつくっていきたくと考えています。

地域おこし協力隊だより



ミツバチとともに学ぶ、養蜂と仲間づくりの取り組み

虫たちも冬眠から覚め、木々が芽吹く季節となりました。
庭先でもミツバチや蝶が元気に飛び回る様子が見られます。
そんな中、ミツバチへの関心が高まる中で、
活動を多くの方と共有したいという思いから
「第1回ミツバチ探究会」を開催しました。

当日は、経験者から未経験者まで幅広い参加者が集まり、
ミツバチの生態や分蜂の仕組みなどについて学びを深めました。
「どうすれば蜂が箱に入るのか」
「なぜニホンミツバチの蜂蜜は貴重なのか」など、
多くの意見や質問が飛び交い、活発な交流の場となりました。

今後は、それぞれが蜂箱を管理していく予定ですが、
課題に直面する場面も出てきます。そうした時には
仲間同士で助け合いながら、解決していきたいと考えています。

小さなミツバチたちが支え合って生きる姿に学びながら、
私たちも安心して暮らせる環境を整え、
その命を守っていくことが大切だと感じています。



6期生 卒業生

伊藤真吾(川崎町森林組合所属)

■活動期間:令和5年4月~令和8年3月

卒業後の活動予定

伐採、公園整備、椎茸の栽培を行っています。
卒業後も川崎町森林組合で
引き続き継続雇用予定です。



会館ホームページ



地域おこし協力隊だより



森林の恵みを伝える、きのこ植菌体験の取り組み

梅雨明けが待ち遠しい季節となりましたが、
皆さんいかがお過ごしでしょうか。
森林組合では、悪天候で現場作業が難しい日には、
予定を変更してきのこの植菌作業を行っています。

また、2024年4月に開催したSPRINGマルシェでは、
森林組合として植菌体験ブースを出展しました。
想定を上回る多くの方にご来場いただき、
急遽原木を追加するほどの賑わいとなりました。
「昔は自宅で栽培していたので懐かしい」といった声も多く、
地域とのつながりを感じる機会となりました。

きのこ栽培用の原木や種駒の販売も行っています。
ご興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

地域おこし協力隊だより



森林の恵みを届ける、椎茸生産の取り組み

皆さんこんにちは、川崎町森林組合で活動している
地域おこし協力隊の伊藤です。
新緑が映える過ごしやすい季節となりました。

草木が生い茂るこの時期は、森林組合でも草刈り作業が増え、
「いよいよシーズンが始まった」と感じています。

また、森林組合で生産している椎茸も最盛期を迎えました。
収穫した椎茸は生で販売するほか、
乾燥させて干し椎茸にも加工しています。

イベントでは生椎茸が人気ですが、干し椎茸は
旨味や栄養価が高く、また違ったおいしさを楽しむことができます。

少し手間はかかりますが、原木で育てた干し椎茸は
格別の味わいです。ぜひ一度ご賞味ください。



川崎町の
ここがスキ
移住者を早く受け入れてくれる所、
肉気は見えよけど話しかけると明々
とでも親切な町内の方たち。



やたいもんは、たこ焼きや
屋台メニューを通して、
人と人、人と地域をつなぐ
キッチンカー（予定）です。
たくさんの笑顔が生まれる場所を
目指して活動していきます。

7期生 相原慎之介

■活動期間：令和6年4月～

■卒業後の活動予定

町内の人々が気軽に集まれる
たこ焼き屋を作る為こつこつ精進中です。
後は川崎町には素敵な手仕事や美味しいもの、
貴重な文化や伝統があるので
それを発信するお手伝いをしていきたいです。



やたいもん・・・キッチンカー絶賛製作中!! (2026年6月現在)



OKAWASAKI AIHARA

地域おこし協力隊だより



交流を生み出す、ものづくり体験の取り組み

協力隊として2年目を迎えました。
先輩隊員の卒業に寂しさを感じつつも、新たな隊員が
加わり、これから一緒に川崎町を
さらに盛り上げていきたいと考えています。

昨年末には、移住者の方々に
町のものづくり文化に触れていただく機会として、
交流会を開催しました。講師には、
しめ縄の匠である追木さんや、
株式会社百の読みかづきさん、倉田さんをお招きし、
餅つきとしめ縄づくり体験を行いました。

参加者の皆さんは、初めての体験に苦戦しながらも、
楽しみながら取り組まれており、和やかな交流の場となりました。

今後も、町民と移住者の方々が
つながりきっかけとなるような企画を継続して開催していきたいです。

地域おこし協力隊だより



人と人をつなぐ、交流イベントの取り組み

秋風が心地よい季節となりました。SPRINGでは、
地元で育まれた川崎茶を味わいながら語らう
「アフタヌーンティー」を定期的に開催しています。
香り豊かな紅茶とともに、町民の皆さんが持ち寄る手作りの
お菓子や旬の味覚が並び、会場は穏やかな笑顔に包まれます。

世代や立場を越えて気軽に集えるこの場は、
「普段話せない方と知り合えた」「おすそ分けが楽しみ」と
いった声もあり、暮らしを温める交流の場となっています。

また8月には、かわさき夏祭りやサマーボランティアフェスに参加し、
たこ焼き屋台を出店しました。多くの方にご来場いただき、
会場は大いに賑わいました。

これからも、人と人をつなぐ場を大切にしながら、
地域の中に温かな交流の輪を広げていきたいと考えています。



川崎町の
ここがスキ

釜房湖や蔵王連峰、広い空、
季節ごとに表情を変えも豊かな自然

8期生 宮本 順

活動期間：令和7年4月～

今後の目標・卒業後の予定

自家製の発酵種と国産有機栽培小麦にこだわり、日持ちのする大きなパンを焼いています。今年度は、町内外のイベント出店を通して、より多くの方に手に取っていただける機会を増やしなが、パンやお菓子の販売を少しずつ広げていく予定です。



イベント出店、パン販売の情報を発信しています。→



@BOIS_ET_TERRA

地域おこし協力隊だより



体験から始まる、移住と協力隊の取り組み

あけましておめでとうございます。
4月に着任してから8カ月が経ち、川崎町で初めての冬を迎えました。澄んだ空気の中で見上げる星空の美しさに、この町の魅力を改めて感じています。

昨年は「地域おこし協力隊体験ツアー」を計4回実施しました。実は私自身も以前のツアーに参加し、地域の魅力に触れたことが移住のきっかけとなりました。

今回は受け入れる側として関わり、参加者の皆さんが川崎町での暮らしを思い描く姿に触れ、多くの学びを得ることができました。

本年も地域の皆さんに支えていただきながら、活動に取り組んでまいります。

地域おこし協力隊だより



伝統の味を支える、寒ざらしそばづくりの取り組み

皆さんこんにちは。新年度が始まり、春の空気をを感じる季節となりました。昨年この町での暮らしに期待と緊張を抱いていたことを、つい昨日のこのように思い出します。

今年1月から2月にかけて、寒ざらしそばの仕込み作業をお手伝いしました。冷たい川に入り、そばの実を水にさらす「水浸し」、引き揚げ「水揚げ」、そして天日で乾かす「乾燥」など、すべての工程が手作業で行われています。

多くの手間と時間をかけ、「おいしいそばを届けたい」という麵棒会の皆さんの思いに触れ、心が温くなりました。

この貴重な経験に感謝しながら、今年度も川崎町ならではの魅力に出会えることを楽しみに活動していきます。



初めまして!よろしくお願いします!

9期生 **New** 小嶋 陸玖

■活動期間:令和8年4月~

■今後の目標・卒業後の予定

地方創生を目的に、「空き家という余白を、次の物語へ。」をコンセプトとした空き家総合サポート事業を展開する予定です。空き家一軒一軒の状況や所有者の想いに寄り添い、売却・賃貸・利活用・管理など、それぞれに最適な選択肢を提案し、実現まで伴走します。これらの取り組みを通じて、空き家を地域の新たな資源へと転換し、交流人口や関係人口の創出、さらには移住・定住につながる地域づくりに貢献していきたいと考えています。



空き家という
余白を、
次の物語へ。



@RIKI_KAMASAKI_LOCAL

小嶋 陸玖(個人)



Akiya Base
Partners



@AKIYABASE_PARTNERS



一緒に将棋を出来る方募集中!

9期生 **New** 小山内 雄平

活動期間:令和8年4月~

■今後の目標・卒業後の予定

将棋や旅行、模型製作など趣味がたくさんあります。現在は仕事やキャリアについて考えられる場所作りを目標にしていますが、今年度は町の事を知り、人を知る事で考えを深めていきたいです。



お気軽にお声掛けください！

9期生 **New**

愛甲 奈美

■ 活動期間：令和8年4月～

■ 今後の目標・卒業後の予定

通訳・翻訳者としての経験と現在学んでいる茶道の知識を活かし、川崎町で「インバウンド観光事業」を立ち上げます。
お抹茶や着物といった日本文化体験を中心に、里山体験や地元の食材を活かした食体験など、川崎町の「日常」を「特別な旅」にするコンテンツを、町民の皆さまと共に作り上げ、国内外へ届けていきたいと考えています。



愛甲 奈美（個人）・・・協力隊の活動など発信しています→



NAMI_KIARA

山やスノボなどの
アクティビティが大好きです！

9期生 **New**

柴田 洵

■ 活動期間：令和8年5月～

■ 今後の目標・卒業後の予定

関係人口創出にかかわる事業に取り組みたいと考えています。
地域ならではのコンテンツを活かした人材の育成や活性化につながる新規事業を通じて、地方創生のモデルとなる街を目指していきたいと考えています。



柴田 洵（個人）・・・

一人前の協力隊に成長する物語を発信しています→





地域おこし協力隊の日常を発信中！

Instagram やってます！

ぜひ！フォロー
お願いします！



KAWASAKI_KYORYOKUTAI



人が集い繋がる

コワーキングスペース

移住定住サポートセンター

みやぎ川崎 SPRING

基本料金
無料



Wi-fi

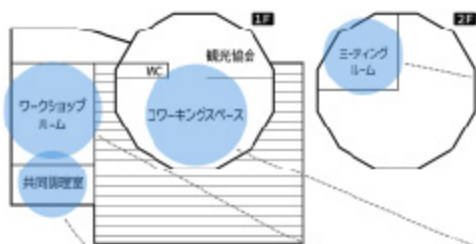


電源



複合機

コワーキングスペースなどを併設した、移住定住サポートセンター「SPRING」町内外の方や移住者の方、様々な人が集い、仕事や勉強の場、また新たなコミュニティづくりや交流の場として、気軽にご利用できる施設です。



予約
必要



ミーティングルーム

個室でじっくりと打ち合わせしたい場合に最適です。ホワイトボードやモニターなども完備。

予約
必要



共同調理室

冷蔵庫、オーブンレンジ等完備。食品や特産品など、新たに商品開発をする場にも。

予約
必要



ワークショップルーム

ワークショップやセミナー、打ち合わせや研究発表などの場に。会員さまの定期イベントなども行われています。

移住
相談



コワーキングスペース

仕事に勉強に、居時間から気軽に使えるワークスペースです。※地域おこし協力隊が拠点として常駐しています。

営業時間

火曜～日曜 10:00～17:00

CLOSE 月曜日 ※祝日の場合は翌営業日

利用方法

会員登録申込書の提出で
簡単登録＆利用スタート！

申込書 SPRINGにて直接ご記入orHPからダウンロード
提出：直接orメールにて
※身分証明書の写しが必要で

WEB予約
HPはこちら ▶▶



みやぎ川崎SPRING

川崎町大字川内字北川原山238-7

TEL 0224-51-8789

✉ spring@town.kawasaki.miyagi.jp



編集後記



この冊子は、川崎町を愛し、この町で挑戦してきた歴代の地域おこし協力隊の活動を記録し、多くの方に知っていただきたいという思いから作成しました。

地域おこし協力隊は、地域の皆さんとの出会いやつながりを大切にしながら、それぞれの得意分野を活かして活動しています。

この冊子をご覧ください、「地域おこし協力隊って面白そう」「川崎町で暮らしてみたい」「この町で挑戦してみたい」と感じていただけたら、これ以上嬉しいことはありません。

この一冊が、川崎町と新しい仲間をつなぐきっかけになれば幸いです。